

○教室ミュージアムについて

【3年生】

- ・私が考える海の自慢は、「カツオ」です。カツオによって、「日本の味」が生み出されていると思いました。
- ・西表島の自慢は、海が綺麗で食べ物がたくさんとれることです。周囲比べると海が西表とは違い、簡単には自分達で食べ物が取れないなどがあるため、そう感じました。
- ・この学習を通して、身近な食べ物として食塩について調べたいと思いました。
- ・アサリなどの身近な海の生物（食べ物）の生態や体のつくりについて学ぶことができた。
- ・西表島で採れるものだけの博物館がつくりたい。観光客が多いから、西表島の自然について知って帰ってほしいと思った。
- ・実際に西表島を体験できる博物館があるといいと思いました。見るだけでも充分楽しめますが、体験できたらもっと楽しい博物館になるのではと思いました。
- ・西表島の自慢はすぐに綺麗な海があることです。こんな近くに綺麗な海があるのは当たり前ではないと感じています。
- ・当たり前だけど、「ワカメ」にも学名があり、「ウンナリアピナフィディア」ということを知って感動しました。
- ・私の西表自慢は「石西礁湖」があることです。珊瑚や底に住む生物などが綺麗だからです。

●博物館の学習を通して考えたこと【キャリア】

- ・展示品を着た人の気持ちになって配置することの重要性を学びました。海洋教育で調べたことをどんな風に展示するかを考える時間になりました。
- ・海の中で見るのと同じ目線で展示を設置したり、どこにでもあるものを題材にして知ってもらう方法は、勉強になりました。
- ・自分が発信したいものをどう見せるか、見せ方の勉強になったのが面白かったです。
- ・お客さん（来客）にどう伝えたいか、何を感じてほしいのかを博物館で展示するときには大切にしていることを学びました。
- ・段ボールで本当に博物館が完成することもすごいと思いました。みんなで協力することの大切さを感じることができました。

【2年生】

・宮古島の海も好き（地元だから）。この学習で、ワカメが酸素を出していることや、ワカメを消化できるのは日本人だけだと知って驚いた。どっちの海も（宮古島・西表島）きれいであってほしい。

・サンゴの海が自慢です。綺麗だと思います。でも、地球温暖化でサンゴが白くなってしまうのが心配です。これからもきれいな海であってほしいので、ビーチクリーンなどのボランティア活動を頑張ります。

・恐竜がいた時は、「海洋無酸素事変」があったと教えてもらいました。数万年という期間、酸素がない中でどんな風に海の生物は生きていたのかなと考えました。西表島の海も今後もきれいであってほしいので、ポイ捨てをせず、ビーチクリーンを頑張ります。

・好きな海の恵みは「鮭」で、焼いても生でも美味しいです。ですが、温暖化で海流が変わったり、稚魚が育ちににくくなったり、少なくなってきたと調べてみてわかりました。ゴミがなく綺麗な海であってほしいので、ポイ捨てをしないし、ビーチクリーンを頑張りたいと思います。

・西表島の自慢は海が綺麗なことと、もずくが採れることです。今回の学習を通して、自分でももずくについて調べてみました。沖縄県ではもずくの養殖が盛んですが、もずくの養殖は1970年代に長崎で始まったそうです。その後1977年に沖縄県でももずくの養殖が成功して、それ以来沖縄県はもずくの生産地として発展したことを知りました。これからも、そんな自然がずっと残っている海であってほしいので、ビーチクリーンに参加したり、地域の清掃を頑張りたいと思いました。

・ワカメについて、様々なことを知りました。大宝律令では税の一つだったと知りました。西表島の海や自然は独自のものだと思うので、今の海や自然を残せるよう、自分にできることはがんばりたいと思いました。

・西表島の月ヶ浜が好きです。白い砂浜や水面が綺麗だからです。ゴミ問題が増えてきていると感じるので、ゴミ一つない恵あふれる島であってほしいので、ボランティアや地域行事を頑張ります。

・カーナ（海草）が西表の自慢だと思います。カーナを採ったとき、根から採らずに切って採っていたので、未来に残すための工夫をしていると思ったからです。今はあまり売られていないが、昔から食べられていたそうです。いつまでも綺麗な海を残すために、ゴミを捨てない、生き物を採りすぎない・残すことを意識していきたいです。

・西表島のもずくが好きです。酸味がききやすく、食べやすいからです。でも、昔は太もずくがあったけど、今は少なくなってきたと調べました。私にとって西表の海や自然は、壊されずに次の世代にも誇れる環境であってほしいと思います。

・地球温暖化の影響で、海洋生物の生息場所が変わったり、いなくなったりして、海の恵みが減ってきていると知りました。綺麗なままの海や自然を残すために、資源の使い方をきをつけていきたいです。

【1年生】

・私の西表自慢は種類が豊富な海の魚たちです。その魚たちも、地球温暖化でサンゴが減少していく中、少なくなっていくと聞きました。いつまでも綺麗な西表島の海であってほしいと思います。

そのために自分でできるビーチクリーンには協力したいと感じました。

・この島の自慢は、たくさんの生き物に会える海です。身近に海があって、すぐにいろんな生き物に会える環境は、内地（沖縄県外）にはあまりないと思うからです。人間が邪魔をしない、そのままの姿の海であってほしいと思います。ビーチクリーンに参加することはもちろん、いろんな人に伝えることを頑張ります！

・西表島には、絶滅危惧種の生物がいることを改めて感じました。これからも常に美しい魚がいる海であってほしいと思います。そのために、ビーチクリーンに参加します。

・西表の海は、昔と比べてゴミが多くなったと聞きました。ゴミがなく豊かな西表の海であってほしいと思いました。

・海のゴミがだんだんと増えてきていると感じます。サンゴの白化現象も気になります。綺麗でゴミのない島であってほしいと思うので、進んでゴミ拾いをするのを頑張りたいです。

・海が綺麗なことが自慢だが、ゴミ問題が増えていると感じる。

・西表島の自慢は、海洋教育ができることです。竹富町でしかできない体験が多いことが自慢です。ただ、最近は海のゴミが多くなっているので、綺麗な海が汚くなったと感じています。ビーチクリーンに参加したり、ポイ捨てをしないよう頑張ります。

・海の綺麗さや魚の種類が自慢です。海は透き通っているし、美味しい魚がいっぱいいます。アサリは昔に比べて半数以下に減ったと聞きました。ゴミがなく、生き物がいっぱいいる海であってほしいと思います。

・ゴミがあるから、昔と比べてカーナ（海草）が少なくなったのかなと思う。

○サップ体験について

【2年生】

- ・シイラ川にはゴミが少なく、いろんな植物や生物がたくさんいることに気づいた。
- ・川の水が上昇して、マングローブにゴミが浸食する問題があると知った。
- ・川の流れはそこまで早くなかった。また、ゴミも全然なかった。それとは逆に、マングローブの種や葉っぱは結構流れていた。
- ・生き物を発見することができなかった。ゴミが少ないと感じた。
- ・たくさんの生き物がいて、動物もいると知りました。浅いところもあり、葉や種、花について学ぶことができました。
- ・板根や膝根などマングローブを見ることができた。たくさん魚がいると思っていたが、いなくて驚いた。
- ・捕獲する罠（魚を）を置いたりして、地元の人も自然を活用していると思った。サメが川をのぼってくると知って驚いた。
- ・サップ体験を通して、「ゴミ問題」や「川の生物」などシイラ川について色々学ぶことができました。
- ・ガイドさんからマングローブの種類や特徴について知れたのが良かったです。楽しくサップ体験ができました。
- ・西表のマングローブについて知ることができて良かったです。
- ・マングローブはよく見ると種類によって葉などが全然違うことに気がつきました。
- ・潮の満ち引きで川の流れは変わる事を知りました。オヒルギやその種類が多いと教えてもらいました。シイラ川の自然を体験することができて、もっと西表の自然を知りたいと思った。
- ・シイラ川にあるマングローブや生き物について知れた貴重な体験になりました。
- ・木の下に種や花が落ちていることが多いと感じました。サップのガイドの人はカヌーよりも少ないと教えてもらいました。
- ・マングローブの種類によって、根の形などが違っていた。黄色い葉っぱが落ちていた。
- ・シイラ川のマングローブを観察したり、サップの乗り方を学ぶことができました。今後は、サップができる豊かな自然を守っていきたいと思いました。

【1 年生】

- 川の奥に行くにつれて自然の音しか聞こえなくなった。
- 絶滅危惧種のコブランがあった。水は冷たく、海に近づくほど塩辛くなることを知った。
- 絶滅危惧種のコブランや沢山の種類のマングローブなどを見ることができました。インストラクターさんが仕事についての質問に詳しく答えてくれたので、仕事について知る事ができました。
- ゴミが少なく、川の奥はとても静かだと感じた。アメンボが大きいと思った。
- 西表は動物や虫以外の植物にも絶滅危惧種がたくさんあると知る事ができました。
- ゴミが案外少なかったことと、水のしょっぱさ、植物の絶滅危惧種がいることを知りました。
- 川にはゴミが少なく嬉しかったです。これからもゴミがなくてきれいなシイラ川を守りたいと思いました。
- 西表には7種類あるマングローブのうち5種類もあると知りました。
- マングローブの花・実・葉がみれた。体験の最後にはシイラ川について沢山知ることができて良かった。
- オヒルギの「がく（花のつくり）」がタコさんウインナーみたいだった。

○体験ダイビング【3年生】

・水中は水面で見る景色とは全く違って、とても面白かったし、生き物達も印象的でした。今回多くの方が私たちのスキューバダイビングの体験に協力してくれたことを忘れず、これからの生活に繋げていきたい。

・見たことのない大きいナマコやサンゴが沢山あることを知りました。魚も沢山いて、船の上から海底まで見えて、透明度が高くとてもきれいでした。ゴミも少なくてきれいだったので、これからも海の綺麗さを保っていきたいと思いました。

・海がとても綺麗で、魚も多かったのが楽しかったです。スキューバダイビングの機材がとても重くて、浮くのが心配でしたが、ちゃんと浮いてびっくりしました。

・この体験で感じたことは、地上との違いです。耳抜きをしないといけないことや、時間があっという間に感じました。1時間海中にいましたが、15分〜20分ぐらいに感じました。

・実際に潜ってみると、サンゴだけでなく砂が広がっていたり、魚が群れをつくっていたり、魚にもいろいろな表情があり、とても面白いと感じた。

・シュノーケルとは違う海の下（底）からの景色は新鮮で、とても綺麗でした。この綺麗な西表島の海をもっと発信していきたいと改めて思いました。

・まず初めに網取湾の海の美しさ、そして船上から海底が透けて見えるほどの透明度に感動しました。サンゴや海の生物を間近で観察することができてとても楽しかったです。

・体験ダイビングで、まず海の透明度の高さと、生き物の多さに驚かされました。知っている魚だけでなく、知らない生き物がたくさんいました。1番印象に残っているのは、クブシミの赤ちゃんです。枝サンゴの隙間に卵が産み付けられてあって、インストラクターの桑原さんが赤ちゃんを見せてくれました。他にも、大きなナマコを触ったり、チンアナゴを見たり、貴重な体験ができました。

・海底につくと、周りに魚がいっぱいいて綺麗でした。今まで西表島の海にチンアナゴがいると思っていなかったけど、30匹ぐらいいてびっくりしました。ウミガメやクマノミを見ることができて、良かったです。

・思った以上に西表島の海が綺麗でびっくりしました。とても良い思い出になりました。

・私たちにも西表島の海や自然を守っていくためにできることがあります。リサイクルできる物を使ったり、マイボトルやマイバックの活用や節電です。

○階上中学校とのオンライン交流会

【3年生】

- ・「海」という部分で共通していて、とても興味がわいた。防災の面でも地域全体と協力して行っていることが驚きだった。
- ・「シャークナゲット」が給食に出るとというのが印象的でした。また、語り部活動を行っているなどの学校の活動や気仙沼市についても知ることができ、とてもいい交流会でした。
- ・気仙沼市の海も綺麗だと聞いたので、海だけではなく、他の自然についても気になりました。
- ・気仙沼市はサメが有名だと初めて知りました。シャークナゲットを食べてみたいと思いました。
- ・気仙沼市のことはあまり知りませんでしたが、今回の交流で海が有名という共通点があったり、気仙沼市ではサメのフカヒシが有名で給食にシャークナゲットが出てくると聞いた時はとても驚きました。また、階上中学校では防災の時に中心になってやっていると聞いて、とても感心しました。
- ・語り部活動では、東日本大震災の事を調べて語っていると知りました。
- ・肉を食べたがった気仙沼市の漁師さんが、気仙沼ホルモンをつくったり、龍の形をした松の木があることを知りました。
- ・少年消防クラブがあると知りました。学校独自の取組などを知る事ができて楽しかったです。
- ・東日本大震災の被災地として、防災訓練や体験を語って受け継ぐ活動があることがとてもすごいと思いました。
- ・お互いの学校生活の様子や学校の文化について知ることができました。特に、東日本大震災について説明する語り部活動は、地域に貢献していてすごく良い活動だなと思いました。
- ・今回スライドを使って説明し合うことで、共通点や違うところを考えるきっかけになりました。

【2年生】

- ・オンライン交流を通して、階上中の給食では、サメのフカヒシなど沖縄県ではあまり食べられていない食材が出ていると知ったので、うらやましいと思った。
- ・印象的だったのは、学校の三大伝統の「あいさつ」「エール」「防災活動」です。色々なことが気になりましたが、東日本大震災についての語り部もすごいと思いました。
- ・沖縄の給食やメニューでは有名な「タコライス」を知らなかったことに驚きました。朝のあいさつや校門前清掃などは、大原中とも同じだと知る事ができました。本気で防災への取組をしていると知り、僕たちも助けられる側ではなく、助ける側になれるといいなと思いました。
- ・階上中さんの発表を聞いて、本当に防災・減災に力を入れていると知りました。気仙沼市の方言についても教えてもらって楽しかったです。カツオの漁獲量も多いと教えてもらいましたが、その内のどれくらいが沖縄に入ってきているのかも気になりました。

- ・階上中でも、大原中ではできないような行事をしていることを知ることができました。防災訓練を1日ばかりで行うと知り、防災にとっても力を入れているんだなと思いました。
- ・ホヤが有名で、キャラクターにもなっていると教えてもらったが、話す内容はサメが中心で面白かった。次はホヤについてももっと教えてもらいたい。
- ・自分達（西表）とは全然違う事ばかりで面白いなと思いました。階上中では総合防災訓練や少年消防クラブなど災害時のための活動があるということを知れて良かったです。
- ・階上中の皆さんと交流して、初めて知ったことや西表島との共通点、違うところが沢山あることに気づかされました。防災学習に力を入れていて、自分達で館内ガイドをしていることにびっくりしました。
- ・東日本大震災の教訓を活かして、二度とそのような出来事を繰り返さないようにしていると思い、その姿勢を見習いたいと思いました。
- ・階上中では東日本大震災の語り部をしたり、救急救命訓練、総合防災訓練などの防災の取組をしていて、とてもすごいと感じました。

【1年生】

- ・大原中学校と違うところがたくさんあって、面白いと思いました。もっと探せば、もっと違いがあると思いました。
- ・東日本大震災の語り部として、伝承館で外国人などに教えていると知ってびっくりしました。階上中のことを知り、大原中について紹介することができて、良かったです。
- ・中学生が語り部として活動していたり、ボランティア活動をしていて地域に貢献していて、すごいと思いました。
- ・少年消防クラブの活動で消防庁長官賞を受賞していて、とてもすごいと思いました。
- ・階上中の発表で、語り部の活動や東日本大震災の伝承館で館内ガイドをしていたり、太平洋が近いので海との関係が深いことを知りました。
- ・有名なずんだもちについての内容を聞いて、食べてみたいと思いました。西表ではパイनやサトウキビ、マンゴー、イノシシが有名なので教えてあげたいと思いました。
- ・階上中の紹介で、有名な食べ物や銅像、橋などたくさん紹介してくれたので、興味を持ちました。
- ・石井崎の昔の名前が地獄崎の話や、防災訓練に心がけていることの話が印象的でした。
- ・方言について教えてもらいました。気仙沼の方言はかわいいと思いました。
- ・階上中学校のみんなと交流して印象に残っていることは、防災についてとてもしっかりと取り組んでいるということです。僕たちの中学校も防災をもっとしっかりとしていきたいと思いました。